

2 循環型社会の推進

(1) 岐阜市分別収集計画

容器包装リサイクル法の施行に伴い、容器包装廃棄物の分別収集を実施するにあたって5年を一期とする岐阜市分別収集計画(平成9年4月始期)を策定し、3年ごとに見直しを行うこととしています。

現在の計画は、令和5年4月を始期として令和9年度末までの5年間を計画期間としています。

容器包装リサイクル法に関する10品目の容器包装廃棄物の行政収集及び自治会や市民団体が実施する集団回収による収集体制が整っています。

ペットボトルは、令和4年度は指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会のルートにより1,174t(出荷重量)が再資源化されました。

白色トレイについては、現行のトレイ回収協力店による拠点回収体制の拡充に加え、令和4年度4月から開始された「プラスチック製容器包装」の分別収集により実施しています。

(2) 環境推進員

環境推進員設置要綱(平成4年制定)により、50自治会連合会毎に3~4人(計182人)の「環境推進員」を2年の任期で委嘱し、地域におけるごみ減量や資源リサイクル活動の推進など行政と地域住民とのパイプ役としての活動をお願いしています。

(3) 資源分別回収

従来から市民運動として行なわれていた紙・繊維・金属など、再生できる資源の集団回収を全市域で実施するため、昭和58年度から「資源分別回収事業」として奨励制度を発足させました。

この事業は、自治会連合会を単位に原

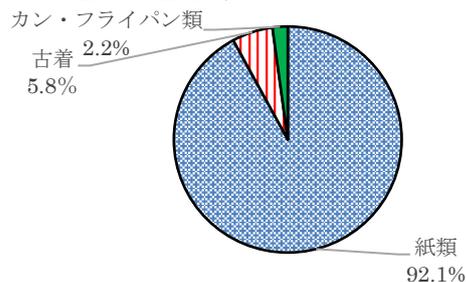
則として月1回、自治会・女性の会・PTA・子ども会・老人クラブなどの実施団体が回収を行うもので、回収品目は「紙類」・「古着」・「カン・フライパン類」の3種類(「生きビン類」・「雑ビン類」は取扱う業者の減少や資源回収量の低下に伴い、令和4年3月末で回収を廃止)です。

平成26年度からは、自治会連合会に対し、奨励金として均等割額3万円と、実績割額を回収重量1kgにつき6円、雑がみは回収重量1kgにつき8円支給しています。

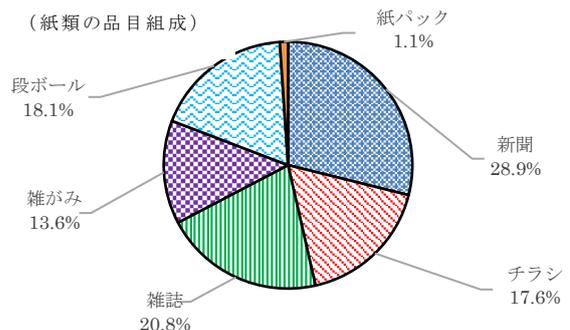
また、平成24年度から自治会連合会と協力して「古紙回収用ボックス」を順次設置しています。設置した自治会連合会に対し奨励金を交付しており、平成29年度からは設置区分に応じた活動割額として1ヵ所月額2,500円、2ヵ所月額3,800円を支給しています。

このほか、集積場所の品目板及び実施チラシなどの物品助成も行なっています。☆令和5年度は市内全50地区において937回実施され、回収量は3,781tでした。

(資源回収の品目組成)



(紙類の品目組成)



端数処理のため、合計値が一致しない

■団体別実施回数の推移

単位（回）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自 治 会	648	633	641	649	649
P T A	100	93	93	97	84
女 性 の 会	15	16	15	19	13
子 ど も 会	74	62	63	62	57
各 種 団 体	52	58	60	60	55
そ の 他	67	66	68	66	79
合 計	956	928	940	953	937

■回収量の推移

単位（t）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
紙類	5,498	4,585	4,354	4,008	3,481
古着類	348	488	331	267	219
カン・フライパン類	124	118	108	89	81
生きビン類	21	20	18	0	0
雑ビン類	78	77	72	0	0
合計	6,069	5,288	4,883	4,364	3,781

※生きビン類・雑ビン類は令和4年3月末で回収を廃止。

■令和5年度自治会連合会別回収実績

校区名	人口 (R6.4.1現在)	実施回数 (回)	総回収量 (kg)	一回あたりの平均回収量 (kg)	1人あたりの平均回収量 (kg)
金華	4,223	12	105,230	8,769	24.9
京町	3,511	12	110,740	9,228	31.5
明德	2,815	11	56,485	5,135	20.1
徹明	5,308	12	106,210	8,851	20.0
白山	5,595	24	49,760	2,073	8.9
梅林	5,930	23	113,190	4,921	19.1
本郷	6,029	24	105,679	4,403	17.5
華陽	7,279	12	138,500	11,542	19.0
木之本	5,554	12	60,190	5,016	10.8
本荘	10,940	23	118,140	5,137	10.8
日野	7,675	23	71,000	3,087	9.3
長良	6,442	12	47,110	3,926	7.3
長良西	12,720	28	133,300	4,761	10.5
長良東	10,361	12	108,770	9,064	10.5
島	13,593	23	127,815	5,557	9.4
早田	8,995	24	69,720	2,905	7.8
城西	8,026	24	95,877	3,995	11.9
三里	14,270	25	103,425	4,137	7.2
鷺山	9,634	14	95,750	6,839	9.9
加納東	6,903	24	112,705	4,696	16.3
加納西	7,818	24	160,215	6,676	20.5
則武	9,358	12	67,980	5,665	7.3
常磐	6,317	12	38,430	3,203	6.1
長森南	13,932	24	99,370	4,140	7.1
長森北	6,203	13	50,345	3,873	8.1
長森西	9,301	12	65,660	5,472	7.1
長森東	7,778	24	86,530	3,605	11.1
木田	3,057	24	37,135	1,547	12.1
岩野田	7,026	9	27,000	3,000	3.8
岩野田北	8,268	24	93,670	3,903	11.3
黒野	11,021	24	85,160	3,548	7.7
方県	2,284	12	32,330	2,694	14.2
茜部	14,073	24	58,580	2,441	4.2
鶉	13,237	12	33,290	2,774	2.5
西郷	8,820	24	43,835	1,826	5.0
七郷	11,060	24	87,445	3,644	7.9
市橋	15,551	12	45,630	3,803	2.9
岩	4,569	23	48,860	2,124	10.7
鏡島	12,490	12	107,650	8,971	8.6
厚見	13,145	21	84,455	4,022	6.4
日置江	4,573	24	54,450	2,269	11.9
芥見	7,266	24	89,460	3,728	12.3
芥見東	5,144	19	65,210	3,432	12.7
芥見南	2,729	23	38,070	1,655	14.0
藍川	5,525	23	62,510	2,718	11.3
合渡	6,297	24	35,920	1,497	5.7
三輪南	9,154	16	49,640	3,103	5.4
三輪北	2,344	15	19,470	1,298	8.3
網代	1,833	5	22,190	4,438	12.1
柳津町	13,516	24	60,900	2,538	4.5
合計	399,492	937	3,780,986	4,035	9.5

(4) 生ごみの減量

①家庭用電気式生ごみ処理機購入補助

「家庭用電気式生ごみ処理機」には主に生ごみを温風乾燥させ減容する温風乾燥方式と、微生物や培養機材を用いて生ごみを分解する分解方式があります。

補助制度は、処理機を自ら購入する市民で、適切かつ安全に使用及び管理ができ、処理物を環境衛生上支障がないように自家処理できる人に対し、購入金額の2分の1を補助する(ただし、20,000円を限度)制度です。

なお、この補助制度は、補助台数が減少傾向にあるなど、一定の周知は図られたと推定されたため、平成18年度をもって一旦終了しましたが、近年廉価で高機能・コンパクトな処理機が販売されており、手軽に生ごみの減量に取り組むことができることから、令和4年度から補助制度を再開しました。

☆令和5年度は、170世帯に対し、3,003,550円の補助金を交付しました。

生ごみ処理機購入補助実績

年 度	補助台数 (基)	補助金額 (円)
平成10年度	411	11,276,580
平成11年度	802	21,172,840
平成12年度	1,369	27,268,680
平成13年度	641	12,718,870
平成14年度	301	5,915,810
平成15年度	244	4,799,080
平成16年度	210	4,151,600
平成17年度	202	3,977,480
平成18年度	284	5,581,830
合 計	4,464	96,862,770

年 度	補助台数 (基)	補助金額 (円)
令和4年度	64	1,021,650
令和5年度	170	3,003,550

②ダンボールコンポスト講座

ダンボールコンポストは、生ごみの分解を促進する基材を入れたダンボール箱の中に生ごみを入れ、生ごみを分解して堆肥化するもので、「臭いが比較的少ない」、「出来る堆肥の量が少なく利用先に困らない」ことが特徴です。これまで、家庭での生ごみの資源化が難しいとされている集合住宅などでも手軽に実施できるため、市民団体と協力して講座を開催し積極的に啓発しています。

令和2年7月からは、ダンボールコンポストの実践方法を学ぶことができる動画の配信を開始し、動画視聴による受講にも対応しています。

☆令和5年度は導入講座を29回開催し、672名の方が参加し、動画視聴による受講者は59名でした。

③ダンボールコンポスト普及促進補助

ダンボールコンポストによる家庭での生ごみ資源化を促進するため、平成29年7月からダンボールコンポストの消耗品の購入費用の一部を補助しています。

☆令和5年度は、385世帯に対し、546,250円の補助金を交付しました。

年 度	補助世帯数 (世帯)	補助金額 (円)
平成29年度	282	354,560
平成30年度	294	416,710
令和元年度	350	470,970
令和2年度	355	505,320
令和3年度	430	618,840
令和4年度	418	601,000
令和5年度	385	546,250
合 計	2,514	3,513,650

③生ごみ地域循環事業

ダンボールコンポストで作った堆肥を有効活用するため、家庭でダンボールコンポストを用いて作った堆肥を使用しきれない場合は、市で回収し、学校の花壇などで活用しています。

☆令和5年度は、8袋35.1kgを回収し、そこから生成した22.6kgの堆肥を市内の小学校3校の花壇などに使用しました。

(5) 事業系ごみの減量

～事業者による取り組み～

①事業系一般廃棄物減量対策

年間ごみ処理総量の約30%を占める事業系ごみ減量のため、市内事業所に対し計画的なごみ減量と資源化の推進を指導啓発しています。

「事業用建築物における一般廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要

綱」を制定(平成11年7月)し、大規模事業所を対象とした「一般廃棄物管理責任者の手引き」を作成、「一般廃棄物管理責任者」の選任と「一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付け、要綱に基づいた減量指導を行なっています。令和5年度における「一般廃棄物減量計画書」の提出事業所数は185件で、令和4年度資源化率(実績)は44.10%でした。また、令和5年度は63件の事業所に立入調査をしました。

平成25年度より占有面積500㎡を超える事務所・小売店(中規模事業所)も対象に加え、令和5年度は232件の事業所に「一般廃棄物減量計画書」の提出を求め、令和4年度資源化率(実績)は62.58%でした。また、令和5年度は85件の事業所に立入調査をしました。

②エコ・アクションパートナー協定店事業

平成4年度から、ごみ減量・リサイクルに自ら積極的に取り組む市内の小売店を「G・Rマークの店」として登録し、消費者に愛される環境にやさしい店づくりを広めていくことにより、市民あげてのごみ減量運動の展開追加を図ってきました。

平成9年度からは、モデル事業として「岐阜市トレイ回収協力店」、平成14年度には、「岐阜市リサイクル商品取扱推進店」を募集し、これらを合わせて「G・Rマークの店」として認定する制度に見直しました。この制度は、その後の「個別リサイクル法」の制定・施行や、リサイクル商品の一般化により平成20年度から「岐阜市トレイ回収協力店」のみに整理されました。

一方、平成19年度には、容器包装

廃棄物等の減量や資源化等環境負荷の少ない活動を進める事業所を「エコ・アクションパートナー協定店」として市と協定を結ぶ制度を設けました（令和5年度協定締結店46店舗）。平成20年8月5日には、「岐阜市レジ袋削減（有料化）の取組みに関する協定」を23業者、市民団体の参加による推進会議及び岐阜市の3者間で締結し、9月1日から多くの市内小売店でレジ袋の無料配布が中止されました。また、平成24年度から「岐阜市トレイ回収協力店」の活動をこの制度に組み込みました。

③トレイ回収協力店事業

容器包装リサイクル法の対象品目である発泡スチロール製トレイについては、平成12年度から市内の食品系スーパーマーケット等に対し、自主回収を協力依頼しています。

☆令和5年度のトレイ回収協力店（42店舗）の報告回収量は、約34tでした。

④はがきのリサイクルグリーンボックス事業

平成10年度から、郵便局と市が共同ではがき専用の回収ボックスを設置しました。回収したはがきは製紙工場で溶解処分し、再生トイレットペーパーの原料としています。

<設置場所>

市内各郵便局

市役所・各事務所

市ステーションプラザ(JR岐阜駅構内)

☆令和5年度実績は、1,140kg、380,000枚でした。

⑤使用済みインクカートリッジ事業

インクカートリッジメーカー等が行うインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして、専用回収ボックスを設置し、使用済みインクカートリッジを回収しています。

回収されたインクカートリッジはメーカーにおいてリサイクルされます。

<設置場所>

市役所・各事務所

柳津資源ステーション

市ステーションプラザ(JR岐阜駅構内)

みんなの森ぎふメディアコスモス

☆令和5年度実績は、145.67kgでした。

(6) リサイクル推進事業

①リサイクル学習バス(ビリック・アクション号)

地域が主体となってごみ減量・リサイクルの推進を図るため、平成8年度から自治会連合会等、一定数以上の市民が活動する団体が、ごみ処理施設などの見学会を実施する場合に、バス1台の借上料を支援しています。

☆令和5年度は、14団体329名が参加しました。

②ごみ減量・リサイクル講座

職員が、ごみ減量と資源化の状況や手法などについてのお話をします。ごみに関する理解を深めていただき、さらに積極的な取り組みをお願いしています。

☆令和5年度は、52回実施しました。

③小学生社会科副読本

小学4年生の社会科学習資料として、ごみ処理の内容をわかりやすく説明した副読本「ごみとわたしたち」及

び「教師用指導資料」のデジタルファイルを作成し、児童のタブレット PC へ配信しました。

④ごみ 1/3 減量大作戦子どもポスターコンクール

小・中学生から、ごみ減量・資源リサイクルをテーマにポスターを募集し、審査の結果、応募作品 35 件から入賞作品 28 点を選考しました。入賞作品は市役所エントランスモール等で展示を行いました。

また、優秀作品をもとに啓発ポスターを作成し、市内小・中学校等公共施設に掲示しました。

⑤ごみ 1/3 減量活動支援

地域が主体となって取り組むごみ減量・資源リサイクル活動に対し、啓発用物品を貸与するなどの支援をしました。